

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

2019年度 柳津町立会津柳津学園中学校

# 学校だより

令和元年7月 5日(金)発行 第 13 号 発行責任者:高橋 弘悦

## “魂”で聴く！

### ファミリーシアター 倭-YAMATO-コンサート

2日、恒例のファミリーシアターが開催されました。例年、演劇や楽器演奏を楽しんできたこの催しですが、今年のゲストは、世界を駆け巡る和太鼓パフォーマンス集団『倭 YAMATO』。1993年結成、奈良県は明日香村を拠点に集団生活を営みつつ、これまでに世界54ヶ国・700万人を動員している世界的なアーティストでした。

巨大な大太鼓、小太鼓など、様々な形状の和太鼓がズラリと並んだステージは、柳学中の体育館とは思えない独特のステージに生まれ変わりました。そして、その楽器群を、長尺のバチで居合斬りのごとく激しく鳴らし、かと思えば棍棒のような極太のバチで重厚な音色を奏で、肩に吊り下げた太鼓を大きく振り回しながら鮮やかに跳躍、“和太鼓イコール伝統音楽”というイメージを打ち破るパフォーマンスとメンバーの鍛え上げられた身体で繰り広げる圧巻のステージは、もはや単なる“演奏”というより“肉体芸術”とでもいいようになるようなものでした。全霊を込めて太鼓を叩く姿には、見ている方も感動を隠せなく、テストを終えたばかりの生徒たちからも度々、感動を表す叫び声が聞こえたりしました。



体験コーナーもありました！

## ロードフラワー植栽



### マリーゴールド700本植栽

会津柳津学園中の生徒は6月28日、柳津町役場近くの国道252号沿いにマリーゴールドの苗約700本を植えた＝写真。

1年生32人が参加し、沿道の花壇に苗を一つ一つ丁寧に植えた。滝谷建設工業が花壇整備に協力した。

1年生が、地域貢献活動の一環として、**令和元年7月4日付け 福島民友より**柳津地区、西山地区にマリーゴールドの植え付けを行ってくれました。

地域の沿道に花を植える「ロードフラワー」の活動は、以前、福島国体が開催された折りに、西山地区在住の鹿野 隆さんが始めたもので、それ以来毎年、鹿野さんが欠かさず続けてきたものです。

地元の鹿野さんの活動に協力する形で旧西山中学校が続けてきたフラワーロード運動ですが、昨年度からは会津柳津学園中学校が引き継いで、種まきからの苗おこしを中学生が行ってきました。このほど、苗も十分成長してきたことから、移植作業を行うことができました。

今年は、西山地区だけではなく柳津地区にもこの運動を広げようと、滝谷建設さんのご協力でふれあい館前に花壇をつくっていただき、28日に柳津地区、3日に西山地区で植栽を行いました。西山地区では西山小学校の協力も得ることができ、楽しく作業することができました。

できるだけ鹿野さんの手を煩わせることなく…とは思っていますが、やはり今年も鹿野さんが植え付け場所の除草作業や畑おこしをしてくださっていました。心から感謝申し上げます。

## 赤べこの由来

「赤べこ」の発祥地が柳津町であることは多くの人が知っていますが、その由来となるエピソードとなると自信が持てなくなるのではないでしょうか。その疑問に答える形で、本校の菊地晃太朗くんが清柳苑に赤べこオブジェを製作し、展示しています。

圓藏寺の菊光堂を再建するのに、只見川の流れを利用して運んだ材木を運び上げるのに難儀していたところ、どこからともなく現れた赤毛の牛が軽々と材木を引き上げてくれた。菊光堂が完成すると、その牛はいつの間にかいなくなってしまった、というお話です。

晃太朗くんは、この話を段ボールオブジェで作り上げ、観光客からも好評です。清流苑にお出かけの際は、ぜひこの力作をご覧ください。

